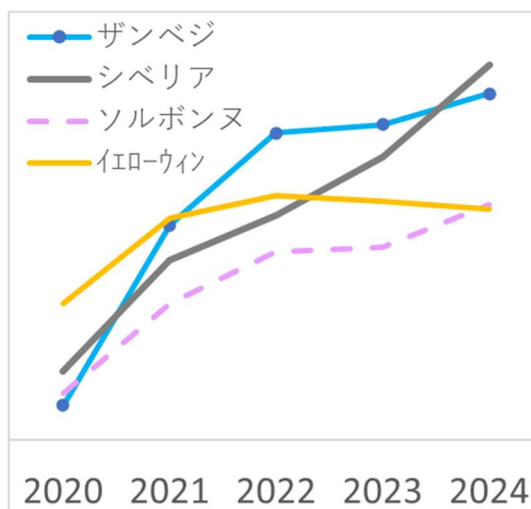


③ 球根相場と単価について

右表は、品種ごとの現地相場の変化をイメージにしたものです。

2021-2022 年産で高騰したザンベジは面積増加により上げ止まりつつありますが、上昇を続けるシベリアがそれを上回り、2000 年以前から流通する古い品種が、最も高価な球根の一つとなりました。特に高騰するフランス産シベリアは 18-20 で 100 円近い単価が想定され、球根も切花単価も安かった 10 年前の倍くらいになった印象です。



球根のインフレ要因としましては

- ・ コロナ以降の労働力不足
- ・ ロシアのウクライナ侵攻以降の物価高・資材高騰
- ・ ECB (欧州中央銀行) によるインフレ退治のための金利高 (=ユーロ高)

などがあり、加えて中東情勢に関わるスエズ運河 (紅海) を迂回した輸送 (海運業界は利益急増…) なども、アジア諸国の球根輸入コストに影響しています。

[地球上から戦争や紛争が無くなり、平和な世の中になります事を心から願います。]

為替 (ユーロ/円) につきましては、1 年ごとの大まかな変動 (8 月) は下表の通りです。

	ユーロ/円 (前年比)
2022 年 8 月	136 円
2023 年 8 月	156 円 (14.7%)
2024 年 8 月	162 円 (3.8%)



ユーロ高/輸入国通貨安は日本だけでなく、中国、ベトナム、メキシコ、コロンビアなど、近年のオランダ産輸出球数をけん引してきた 4 か国でも起きており、(アメリカ・ドイツの景気も気にしつつ) 球根需要への影響を慎重に見ていく必要があります。

弊社と致しましては、現時点までで一旦仕入確定として、例年通り単価決定を行います。今後の状況 (為替・オランダの生育と相場変動・国内の球根取引状況 等) を勘案し、収穫期までに既存のお客様により良い条件をご提示できるよう検討を続けて参ります。皆様のご高配が弊社の調整力を後押しして下さっています。ご協力に感謝申し上げます。
※冒頭①にてご説明の通り、一部品種につきましては球根生産者からの販売が遅れており、弊社の仕入 (球数・価格) が決まらないため、単価決定につきましても状況が整い次第のご報告となりますことをご了承下さい。

よろしくお願い致します。

以上